

県チームに紀南勢多数

都道府県對抗駅伝

和歌山陸上競技協会は、来年1月の全国都道府県對抗駅伝(日本陸上競技連盟主催)に出場する男女の県メンバーを発表した。紀南勢を多数選出した。

女子(9区間、42・195キ)は1月11日に京都市で、男子(7区間、48キ)は同月18日に広島市で開かれる。

女子(13人)では、中学生で上秋津3年の野村蒼さん、上南部2年の清水梨穂さんが選出された。高校生では神島

から3年の那須千晴さんと中松利恵さん、2年の山本明日香さんと橋本奈津さんの4人が選ばれた。神島高校出身の古久保亜衣さん(京都産業大学4年)もメンバー入りした。

男子(10人)では、田辺工業高校2年の阪口俊平君と、みなべ町出身の中村悠二さん(愛知製鋼)が選ばれた。

協会は2度の選考記録会などからメンバーを選んだ。大会までに強化合宿をし、レベルアップを図るといふ。

女子の監督は神島高校の長山丞教諭。コーチの一人は東陽中学校の池田千秋教諭。男子の監督は和歌山北高校の吉田克久教諭。